

平成30年度(2018年度)

管理事業名	男女共同参画事業			総合計画の体系	第1章 第3節	すべての人がいきいき輝くまちづくり 男女共同参画のまちづくり	
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 24	男女共同参画費
部局名	市民部	予算執行所属		男女共同参画室、男女共同参画センター			
予算大事業名		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費 (項)総務管理費 (目)ダブルリボンプロジェクト基金積立金 ダブルリボンプロジェクト基金積立事業					
<p>男女共同参画事業、DV防止対策事業、男女共同参画センター一般事務事業、男女共同参画センター施設管理事業、男女共同参画センター事業</p> <p><b>事業の目的と概要</b></p> <p>【目的】 男女共同参画に関する意識改革を図り、性別に関わらず対等な立場で働き暮らすことができる環境を整えるため、啓発等の取り組みを行う。また、DVなどの暴力に悩む市民への相談などを行うとともに、DV防止に向けた啓発などの取り組みを行う。</p> <p>【概要】 ・男女共同参画事業(すいた男女共同参画プラン策定及び年次報告等進捗管理に関する事、市民や市職員に対する意識啓発冊子の作成等に関する事)</p> <p>・DV防止対策事業(配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護に関する事、DV相談に関する事、Wリボンプロジェクトに関する事)</p> <p>・男女共同参画センター施設管理事業(施設維持管理に関する事)</p> <p>・男女共同参画センター主催講座等事業(主催講座や講演会の開催等に関する事)</p> <p>・女性のための相談事業(電話相談・女性のための悩み相談・法律相談に関する事)</p>							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
主催講座等参加人数	人	5,867	6,126	5,734	男女共同参画センターの主催講座等における延べ参加者数
DVに関する相談件数	件	707	644	688	DV相談件数
成果の説明	<p>・男女共同参画センターでは、男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進につながる講座を、前年度より19回(平成29年度138回、平成30年度157回)増やしましたが、学生向け講座の対象人数の減少により、参加者が前年度より392人減少しました。</p> <p>・DV相談による相談件数は年々増加傾向にあります。様々な啓発活動を実施することでDV被害者を発見し、支援につなげることが出来ました。</p>				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	3,107	3,130	3,067	△62
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	1,477	1,381	1,249	△132
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	0	0	0	△0
その他	1,272	617	848	231
経常収入 小計(a)	5,856	5,128	5,164	36
給与関係費	99,091	98,605	96,910	△1,694
物件費	33,067	32,047	32,105	58
維持補修費	2,696	2,260	24,332	22,072
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	7,275	7,160	7,723	564
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	11,034	11,125	12,126	1,001
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	6,798	6,892	6,531	△362
退職手当引当金繰入額	6,088	5,131	2,519	△2,612
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	166,048	163,219	182,246	19,027
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△160,192	△158,092	△177,082	△18,990
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	0	-	△0
固定資産除売却損	-	0	-	△0
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	0	-	△0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	△0	-	0
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△160,192	△158,092	△177,082	△18,990
一般財源充当額	151,498	167,216	169,788	2,572
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△8,694	9,124	△7,294	△16,418

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	男女共同参画センターにおいて年度途中で欠員が出たため、給与関係費が減額しました。 ※月平均従事人数 平成29年度11人→平成30年度10.5人
維持補修費	維持補修費の主な増額理由は、外壁タイル改修工事を実施したことによるものです。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	5,348	5,128	5,164	36
行政サービス活動支出	156,037	154,278	175,286	21,008
行政サービス活動収支差額	△150,689	△149,150	△170,122	△20,971
投資活動収入	2,000	2,000	1,951	△49
投資活動支出	2,809	20,065	1,617	△18,448
投資活動収支差額	△809	△18,065	334	18,399
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△151,498	△167,216	△169,788	△2,572
一般財源充当額	151,498	167,216	169,788	2,572
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	【投資活動収入】 ダブルリボンプロジェクト基金から1,951千円取崩し、DV防止対策事業の一部に充当しました。
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成28年度	369,522 人	449 円	市民1人あたり年間491円のコストがかかっています。前年度より50円増加しました。(各年度の3月31日現在の吹田市人口で算出しています。)
	平成29年度	370,072 人	441 円	
	平成30年度	371,030 人	491 円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	6,892	6,531	△362
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	6,892	6,531	△362
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	301,346	289,229	△12,118	その他流動負債	-	-	-
土地	71,593	71,593	-	固定負債	74,599	69,795	△4,804
建物・工作物	229,753	217,636	△12,118	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	74,599	69,795	△4,804
無形固定資産	539	531	△8	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	81,492	76,326	△5,166
建物・工作物	-	-	-	純資産	234,702	227,408	△7,294
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	3,000	3,000	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	11,309	10,974	△334
投資その他の資産	11,309	10,974	△334	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	11,309	10,974	△334
基金	11,309	10,974	△334	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	316,194	303,734	△12,460
資産の部合計	316,194	303,734	△12,460	負債及び純資産の部合計	316,194	303,734	△12,460

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

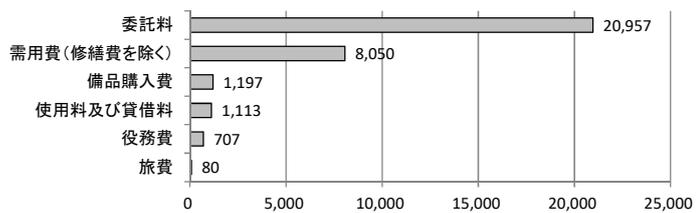
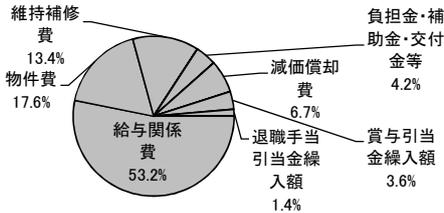
	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	10.5人	3人	872日	26人	105,960
給与関係費等	86,526千円	11,647千円	7,164千円	623千円	
内、時間外勤務手当	1,560千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	男女共同参画センターの建物減価償却により、12,118千円の減。
基金	ダブルリボンプロジェクト基金からDV防止対策事業の一部に充当するため1,951千円の取崩しによる減、指定寄附金、Wリボンバッジ利益分、預金利息、前年度繰戻分の積立による1,617千円の増。取崩し額と積立額の差が334千円減。

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立男女共同参画センター
取得年月日	昭和62年(1987年)5月1日
建物・工作物の取得価額	569,814 千円
建物・工作物の減価償却累計額	352,178 千円
利用料金収入	3,067 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	
施設維持補修費比率	0.5	0.4	4.3	3.9
施設老朽化比率	59.7	59.7	61.8	2.1
受益者負担比率	1.9	1.9	1.7	△0.2
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	95.4	95.9	96.0	0.1
経常費用対公共資産比率	30.1	28.6	32.0	3.4

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は56.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

- ・ 経常収入の5,164千円の内訳は、3,067千円が男女共同参画センター使用料、1,249千円がダブルリボンプロジェクト基金指定寄附金です。
- ・ 経常経費の主なものにつきましては、給与関係費96,910千円(53.2%)、物件費32,105千円(17.6%)、減価償却費12,126千円(6.7%)となっています。
- ・ 男女共同参画センターは、外壁タイル改修工事により、施設維持補修費比率が前年度より3.9ポイント上昇するとともに、施設老朽化比率も前年度より2.1ポイント上昇しています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

- ・ ダブルリボンプロジェクト基金は、DVや児童虐待、暴力をなくすために実施している「Wリボンプロジェクト」を地域や企業と連携し、さらに発展させて「暴力のない安心安全なまちづくり」を実現するための財源です。Wリボンバッジの売上金の一部のほか、企業や市民からの協賛による寄附金等も積み立てています。現在、基金を財源とした事業は啓発がメインとなっていますが、基金を有効活用できる方策について課題を整理したうえで検討して必要があります。
- ・ 男女共同参画センターは、男女共同参画推進の拠点施設として、また、市民の活動や交流の場として、大勢の方に利用してもらえるよう貸館業務や多彩な講座、相談事業等を、今後も実施していく必要があります。しかし、老朽化した施設の維持管理に係る維持補修費や施設管理に係る委託料がコスト増加の主な要因になっており、これらの課題については、施設の最適化と併せて検討する必要があります。今後も修繕計画や事業の見直しを行うことで、経常経費を抑えるよう努めます。